



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,412	1.3	425	△9.5	621	5.5	404	9.1
27年3月期第2四半期	8,304	△0.5	469	△7.6	589	△4.2	370	5.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 284百万円 (△66.4%) 27年3月期第2四半期 846百万円 (18.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.92	—
27年3月期第2四半期	5.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	23,239	17,732	76.3	259.51
27年3月期	23,703	17,585	74.2	257.35

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 17,732百万円 27年3月期 17,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
28年3月期	—	1.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	0.9	800	△1.6	1,000	△8.2	700	5.7	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	69,774,401 株	27年3月期	69,774,401 株
28年3月期2Q	1,441,648 株	27年3月期	1,441,004 株
28年3月期2Q	68,333,110 株	27年3月期2Q	68,334,282 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調にあるものの9月の日銀短観における業況判断指数は、大企業製造業で前回調査を下回り、平成27年4～6月期の国内総生産の速報値が3四半期ぶりのマイナス成長になる等、国内景気の先行きについては不透明な状況が続いております。食品業界におきましては、円安による輸入原材料価格の高騰が、企業収益の圧迫要因となっている一方で、値上による物価上昇や消費者の節約志向などにより個人消費の動向も不透明さを増し、厳しい市場環境が続いております。

当社グループは、安全・安心・信頼できる企業であり続けることを大前提に「幸福感を味わせる商品の提供」を理念に掲げ、主力商品であるソース類の価値の向上や国外における認知向上、及び業務用市場における新規開拓を進めてまいりました。

ソース類事業における家庭用商品につきましては、ブルドックソースでは「ブルドック贅沢ブレンドウスターソース300ml」「ブルドック 贅沢ブレンド中濃ソース 300ml」「ブルドック 贅沢ブレンドとんかつソース 300ml」を開発し、8月より発売しました。「ブルドック 贅沢ブレンドウスターソース300ml」は、かつお節、昆布など産地にこだわった5種類の旨味を使用、「ブルドック 贅沢ブレンド中濃ソース 300ml」は、セロリ、ローズマリー、タイムなど香味野菜や24種類のハーブやスパイスを使用、「ブルドック 贅沢ブレンドとんかつソース 300ml」は、緑黄色野菜などの10種類の野菜・果実を使用した少し上質なソースです。また、7月にはミラノ万博にあわせて同市内で開催された見本市「ジャパンサローネ」にて箸で食べる和食 とんかつ「東京とんかつ」を当社とんかつソースとともに試食提供し、ソースで食べる日本のとんかつの美味しさをミラノの方々に体験していただきました。さらに今後東京オリンピック開催に伴う外国からの観光客の増加を見据え、8月31日から10月31日まで、ミラノ万博・日本館レストランでは「Premium Pork Cutlet TOKYO TONKATSU」と銘打ち、日本産の豚肉を使用したとんかつがメニューに加わり当社とんかつソースを添えて提供されています。日本産の豚肉の美味と、とんかつソースとの美味しいコラボレーションで、日本食「TONKATSU」を広く世界各国の皆様にお伝えしております。イカリソースでは、「イカリゆずのポンたれ 220」「イカリ怪味鶏のたれ 225」「イカリしょうが焼のたれ 225」を8月に発売し、主菜にも副菜にも使える、作れる調味たれとしてご好評をいただいています。さらに9月には主力商品である「イカリウスターソース」「イカリ中濃ソース」「イカリとんかつソース」をリニューアルしました。伝統の味にかつお節エキスやオイスターエキス、昆布等の旨味とトマトの旨味を増やし、食品添加物（着色料、化学調味料、甘味料、香料、増粘剤）不使用に加えアレルギー物質27品目も不使用としております。

業務用商品につきましては、ブルドックソースでは、プライベートブランド商品を中心に外食産業のユーザーや中食・惣菜・加工用ユーザー等に対する新規メニュー提案や新規顧客開拓を引き続き積極的に行い、売上は順調に推移しております。イカリソースでは、引き続き「地元 関西の味」をベースとしたメニュー提案を行い、新規顧客の開拓に努めてまいりました。

一方、原材料・副資材は、円安による輸入原材料価格の高騰が続いており、特に野菜・果実、香辛料の価格高騰が顕著で、今後もこの傾向は続くことが予想されます。弊社グループでは、業務の効率化やコスト削減に取り組み、現状価格の維持に努めてまいりましたが、今般、企業努力だけではコスト増を吸収することが困難な状況と判断し、ブルドックソースの商品に関しては8月1日から25年ぶりの価格改定を行い、イカリソースの商品に関しては9月1日から、価格を改定させていただくこととなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は84億1千2百万円（前年同期比1.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は香辛料や野菜などの原材料価格の高騰により4億2千5百万円（前年同期比9.5%減）となりましたが、経常利益は投資有価証券売却益などにより6億2千1百万円（前年同期比5.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億6千3百万円減少し、232億3千9百万円となりました。主なものは、流動資産では、現金及び預金が3億9千1百万円減少、固定資産においては、有形固定資産が7千8百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億1千1百万円減少し、55億7百万円となりました。主なものは、流動負債では、未払費用が1億5千4百万円、その他に含まれる未払金が2億4百万円減少し、固定負債においては、繰延税金負債が4千2百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億4千7百万円増加し、177億3千2百万円となりました。主なものは、その他有価証券評価差額金が1億1千5百万円減少しましたが、利益剰余金が2億6千7百万円増加したことなどによるものです。これにより自己資本比率は、76.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億9千1百万円減少し、37億3千3百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億9千9百万円の収入（前年同期は、5億2千万円の収入）となりました。

これは主に、法人税等の支払額2億3千万円はありましたが、税金等調整前四半期純利益6億1千万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億8百万円の支出（前年同期は、5億1千3百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億5千8百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億8千3百万円の支出（前年同期は、1千3百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入による収入1億円はありましたが、長期借入金の返済による支出2億3千9万円及び配当金の支払額1億3千6百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日公表しております「第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,134	3,743
受取手形及び売掛金	4,135	4,128
商品及び製品	448	452
原材料及び貯蔵品	85	99
仕掛品	30	21
繰延税金資産	171	169
その他	54	72
流動資産合計	9,060	8,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,011	1,977
機械装置及び運搬具（純額）	1,182	1,131
土地	2,711	2,711
その他（純額）	87	93
有形固定資産合計	5,991	5,912
無形固定資産	19	10
投資その他の資産		
投資有価証券	8,001	7,984
その他	683	697
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,632	8,629
固定資産合計	14,643	14,552
資産合計	23,703	23,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666	1,678
1年内返済予定の長期借入金	279	79
未払法人税等	236	218
未払費用	1,039	884
賞与引当金	179	168
その他	475	196
流動負債合計	3,878	3,227
固定負債		
長期借入金	320	380
繰延税金負債	905	862
退職給付に係る負債	822	841
長期未払金	166	166
その他	25	29
固定負債合計	2,239	2,280
負債合計	6,118	5,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	12,586	12,854
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,660	15,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,920	1,804
退職給付に係る調整累計額	4	0
その他の包括利益累計額合計	1,924	1,804
純資産合計	17,585	17,732
負債純資産合計	23,703	23,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,304	8,412
売上原価	4,011	4,097
売上総利益	4,293	4,315
販売費及び一般管理費	3,823	3,890
営業利益	469	425
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	82	91
投資有価証券売却益	38	106
その他	3	6
営業外収益合計	124	204
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	0	3
営業外費用合計	4	7
経常利益	589	621
特別損失		
固定資産除却損	9	2
災害による損失	-	8
特別損失合計	9	11
税金等調整前四半期純利益	580	610
法人税等	209	206
四半期純利益	370	404
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	370	404

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	370	404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	△115
退職給付に係る調整額	△2	△4
その他の包括利益合計	475	△120
四半期包括利益	846	284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846	284
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	580	610
減価償却費	253	254
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	12
受取利息及び受取配当金	△82	△91
支払利息	4	4
固定資産除売却損益(△は益)	9	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△38	△106
売上債権の増減額(△は増加)	123	7
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	△7	11
未払費用の増減額(△は減少)	△193	△152
その他	72	△88
小計	691	443
利息及び配当金の受取額	82	91
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額	△244	△230
法人税等の還付額	1	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	520	299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△337	△358
投資有価証券の取得による支出	△278	△399
投資有価証券の売却等による収入	167	367
関係会社出資金の払込による支出	△50	-
その他	△15	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△513	△408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400	100
長期借入金の返済による支出	△270	△239
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△136	△136
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	△283
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6	△391
現金及び現金同等物の期首残高	3,503	4,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,497	3,733

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。